

# 体制の整備に向けて 業の推進のために～

よる森林施業の提案によって  
型集約化施業」の取組が動き始めています。  
一」の育成状況などを追ってみました。

高まる国産材の期待に  
応えるため  
施業の集約化活動を進める

今、外材需給の先行きが不透明さを増す一方で、利用可能な国内の森林資源が充実しつつあり、安定供給可能な資源としての国産材への期待が高まっています。

このような中、森林整備を計画的に実行するため、また、原木の安定供給を実現していくためにも、経営感覚を持った意欲ある林業事業者が育成され、森林所有者からの長期的な森林施業の受託などを通じて集約化を図っていくことが重要となっています。これによりニーズに応じた国産材原木の供給を実現し、木材産業との安定的な関係の構築等を通じて国産材の需要を拡大するとともに、林業の収益性や森林所有者の施業意欲を向上させ、健全な森林の育成を推進していくことが必要となります。

その実現のためには、川上においては、森林組合など林業事業体による森林所有者への施業の働きかけや集約化された森林から生産される原木情報のとりまとめなどの活動を一